

東和地域支援室通信 4月

東和総合支所地域振興課地域支援室 : 東和町土沢8区60 電話 41-6514(直通)

令和4年度東和総合支所地域支援室の紹介

本年度の東和総合支所地域支援室は、定期異動により新たに2名の職員を迎え、4名で各地域コミュニティ会議支援、生涯学習事業、空き家バンク・移住定住相談を中心に業務を行っていきます。

本年度も引き続き本通信を発行し、生涯学習事業を中心に情報を発信します。



室長 伊藤 潤



支援監 齊藤 秀也(新)



主査 糸川 拓真



主査 伊藤 志保(新)

🏠移住・定住、空き家相談について🏠

花巻市では、令和4年4月から「東和地域移住定住推進事業」を、一般社団法人東和作戦会議に委託しました。

東和町にある空き家を貸したい・売りたい、東和町に住みたい、東和町に移り住んだけれど困ったことや相談したいことがある、民泊・農泊を始めてみたい など、移住・定住のお手伝いや空き家相談などについて、2名の相談員（菅野・大石）と一緒に解決について考えていきます。

受付場所、時間は次のとおりです。

受付場所 東和町土沢5区372番地 東和おもしろ作戦研究所内

電話番号 0198-29-6500 FAX番号 0198-29-6501

Eメールアドレス omoshiro@leaf.ocn.ne.jp

受付時間 月～金 9:00～12:00

そのほかの時間帯は、留守番電話に入れていただきますと折り返し連絡を差し上げます。

どうぞ、お電話・お越しをお待ちしております。

キジ

東和の町も4月、新しい年度を迎え春の陽気に包まれるようになりました。草木が芽吹く気配も感じられ、間もなく動物も植物も一気に活動を開始する季節に入ります。

今回は、東和の町に限らず全国で有名な鳥キジの紹介をさせて頂きたいと思います。

キジは、言わずと知れた日本の国鳥であり、多くの県市町村の鳥に指定されている鳥です。

物語では、桃太郎と一緒に鬼退治をしたり、慣用句「けんもほろろ」の語源ともいわれています。また、俳句においては、春の季語ともなっております。

昔から食用としても重用されており、日本の固有種であること、分布域が広いこと、食用として日本人に恩恵を与えていることなどが国鳥として選定された理由であるともいわれています。お札にも載っていたこともあり、我々にとって一番身近な野鳥であるといっても過言でないかもしれません。東和町内でも、キジは「そこらへんに居る」という身近なイメージだと思えます。

キジは、オスが体長約80cm、メスが約58cmとオスが大型となります。体色も大きく異なり、オスは目の周りに赤い肉垂を持ち、体全体が鮮やかな緑色となっております。また長い尾もよく目立つ特徴の一つです。対してメスは、全身が茶褐色で目立たない色合いをしており、尾もオスに比べ短いのが特徴となっております。農耕地、平地、河川敷などの草の茂った場所付近に生息しており、草木の種子や芽、柔らかい葉を主に食べますが、雑食であり小さな昆虫なども食べることで知られております。

非繁殖期は、雌雄別々に暮らしますが、4月から繁殖期に入り、オスは激しく鳴きながら縄張り争いをします。この頃のオスはとても凶暴で、また足に蹴爪という棘のような爪がついており、蹴られると大怪我につながることからうかつな接近は控えたほうがよさそうです。平地や農耕地の陰などを掘り、草葉を敷いた簡素な巣を作り、6~10個ほどの卵を産み雛を育てます。なお、子育てにはオスは参加せず、メスのみが行います。

キジは、知覚能力に長けており、人体では知覚できない地震などの初期微動を感じるができることが知られております。辺りでキジの騒ぐ声を聞いた後に地震が来たという話は良く聞くエピソードの一つです。

とても良く響くキジの声、これから東和の町に本格的な春の訪れを知らせてくれるものと思えます。